



仙台市リサイクル
シンボルマーク
「メビウスちゃん」



● 編集・発行 仙台市環境局廃棄物管理課
● 電話 214-8227

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

こんにちは推進員さん	1P
活動報告会を開催しました	2P
各区で排出実態調査報告会&交流会を開催しました	2P
仙台市環境局からのお知らせ	3~4P



▲石垣さん(左)と後任の高橋陸男さん。石垣さんは本年6月の任期満了をもって引退しましたが、地域への思いは、高橋さんへ引き継がれています

「ごみ出しルールを守ってもらうためには、ごみを出す環境を整備することが大切です」と語るのは、13年間にも渡って推進員を務めてきた石垣吉夫さん。集積所をいつもきれいにし、管理された場所であることが伝わるよう心掛けています。

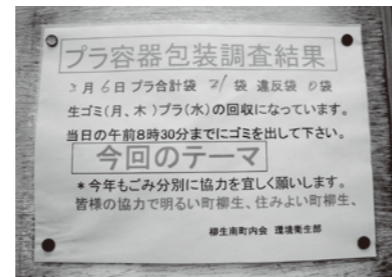
町内の集積所は、この地域が区画整理された時に整備された、物置型の立派なもの。石垣さんは、さらに使い勝手を良くするために、木製の掲示板を取り付けました。この掲示板にはポスターなどを画びょうで固定するので、取り替えるときにシールの跡が残らず、

「こんにちは推進員さん
大切なのは、ルールを守っても
らえる環境の整備と意識の啓発」
柳生南町内会

「地域の方からの『ごみくろくさま』の一言が何よりの励み」と話す石垣さん。その言葉から、地域への熱い思いを感じました。

また、石垣さんは、こうした環境整備と並行して、地域の皆さんの環境意識を高める取り組みも実施しています。毎月1回、他の推進員の方と手分けして、全集積所の排出状況を調査。その結果を報告書にまとめて回覧しているほか、石垣さんが考えたオリジナル標語とともにチラシにして、集積所に掲示しています。さらに、町内会行事の際に出たごみは、参加者にその場で分別してもらって、分別ルールの啓発も行っているそうです。

「費用は町内会費で賄われています。地域の皆さんに、きれいなまちにするための必要経費だと理解してもらっています」と石垣さん。「集積所用の土地を、町内会で有料で借りているところもあるんですよ」と教えてくれました。



▲集積所に掲示したチラシ。地域の方に見てもらうため、標語は毎回変更して、マンネリ化を防止

震災廃棄物等の処理状況をお知らせします

東部沿岸地区に「がれき搬入場」を整備し、場内の仮設焼却炉等で、震災廃棄物等の処理を進めています。現在、震災当初の目標「平成25年度末までの震災廃棄物等の処理完了」に向けて、順調に進捗しています。

■処理状況(平成25年5月31日現在)

	震災廃棄物	津波堆積物
発生量(推計値)	135万トン	130万トン
処理量	115万トン	67万トン
処理率	85%	52%

※このほか、石巻ブロック(石巻市・東松島市・女川町)のがれき(木くず等)5万トンを受け入れ、焼却処理しました。

■今後の処理の見通し

- ・平成25年9月 焼却処理完了
(仮設焼却炉を順次撤去)
 - ・平成25年内 リサイクル・最終処分完了
 - ・平成26年3月 がれき搬入場の原状復旧完了
- (問) 震災廃棄物対策室 214-8679

クリーン仙台推進員の平成25年度行事予定が決まりました

各行事は、郵送にてご案内いたします。ぜひご参加ください。

※実施時期は、変更する場合があります。
※対象は全て推進員です。なお、「仙台メビウス通信」は、メイト・町内会長にも送付します。
※ごみ集積所排出実態調査のご案内は、推進員あてに郵送いたしますが、調査実施の際は、メイト・ご町内の方々もご協力いただければ幸いです。

主な行事	実施時期
グループ学習会「初めの一步編」	9月
ごみ集積所排出実態調査	10月
環境施設見学会	10~11月
ごみ分別研修会(区ごとに開催)	10~11月
グループ学習会「広報編」	1月
排出実態調査報告会(区ごとに開催)	2~3月
活動報告書の提出	3月
仙台メビウス通信の発行	9・12・3月

環境事業所の電話番号

- 青葉環境事業所 277-5300
- 宮城野環境事業所 236-5300
- 若林環境事業所 289-2051
- 太白環境事業所 248-5300
- 泉環境事業所 773-5300

〇〇〇編集後記〇〇〇

◆平成4年2月にモデル事業としてスタートしたクリーン仙台推進員制度は、今年で22年目。前期から引き続き担当することになりました。よろしくお願ひします。(包)
◆推進員事業を担当して、はや1年。皆さんの普段の活動やその苦勞を聞くたび、頭の下がる思いでした。皆さんの一助となれるよう、精一杯がんばります。(相澤)

仙台☆スマートハウス補助制度をご利用ください

「太陽光発電+蓄電池等+省エネ機器」を3点セットで導入する方を支援します。

●対象II市内の居住用住宅に次の①②③の全てを導入する方
①太陽光発電システム
②蓄電池またはピークル・トゥ・ホーム(V2H)
③家庭用燃料電池(エネファーム)、

家庭用ガスエンジン式コージェネレーション(エコウィル)、地中熱ヒートポンプ、太陽熱利用システム、LED照明、エネルギー管理システム(HEMS)のいずれか一つ

●補助金額II上限45万円
●申込期限II平成26年1月31日
●詳しくはお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。
(問) 環境企画課 214-8232

活動報告会を開催しました

平成25年2月19日、仙台市民会館で、「クリーン仙台推進員活動報告会」を開催し、推進員とメイト合わせて約200人が参加しました。この報告会はセミナーと展示の2部構成で、前任期(平成23年7月〜25年6月)の活動の総まとめとして、開催したものです。

「セミナーの部」では、始めに、昨年6月から半年間に渡って実施した、グループ学習会「やってみよう編」について報告しました。

まず、当該学習会の講師をお願いした、地域社会デザイン・ラボの遠藤智栄氏が概略を説明。併せて「課題を見つける↓解決策を考える↓実践する↓振り返る」という、学習会で体験したプロセスが地域活動においても大切であることや、グループで合意する際の優先順位の決め方、皆で決めた計画を「見える化」することの重要性

についても話がありました。

次に、参加者を代表して、同じグループで活動した6名から、具体的な取り組みについて報告していただきました。皆さんからは「グループ活動を振り返ると、やる気が湧いたり、あきらめそうになったりと、心には変化がありました。壁にぶつかって落ち込んだ時もありましたが、グループの仲間からの励ましで奮起し、再び挑戦して問題を解決できました」といった体験談も紹介されました。

続いて、名掛丁東名会(宮城野区)の渡邊昭男推進員から、「楽



▲学習会参加者代表の皆さん
▶講師の遠藤さん(右)と渡邊推進員

しみを見つける」「地域の方々を巻き込む」「地域の方々に知ってもらおう」をモットーにした、普段の活動の様子を報告していただきました。ユーモアたっぷりの渡邊さんの話で、会場は和やかな雰囲気になりました。

締めくくりには、毎年10月に行っている「ごみ集積所排出実態調査」について、環境局から説明集積所に出されるごみの実態を調べることで、地域の課題を知ることができると、より多くの推進員の参加を呼び掛けました。

また、「展示の部」では、区ごとに、推進員が作成したポスターやチラシをパネルに展示。会場では、パネル前で説明している推進員に質問したり、ポスターの写真撮ったりする参加者の姿や、推進員有志で活動する「ペットボトルラベルはがし実行委員会」のコーナーで、廃ペットボトルから作られる商品を見ながら、熱心に説明に聞き入る姿が見られました。

各区で排出実態調査報告会 & 交流会を開催しました

2月下旬から3月上旬にかけて、昨年のごみ集積所排出実態調査に参加した推進員を対象に、区ごとに報告会を開催しました。

まず、各環境事業所から、グラフや写真を交え、市全体の状況と比較しながら、区の特徴などを報告した後、分別で注意してほしい点の再確認などを行いました。

後半は、参加者同士で自由に話し合い、交流を深めました。参加者からは、「他の地域の取り組みを知ることができて参考になった」という声が寄せられました。



▲力作ぞろいのポスターやチラシに見入る、参加者の皆さん

仙台市環境局 かがのま知らせ

使用済み食用油のリサイクルにご協力を!

家庭で使用されたてんぷら油などの食用油を回収して、収集車両の燃料などとなる、バイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルするモデル事業を実施しています。●排出方法 500mlのペットボトルに入れ、各店舗に設置した専用ボックスに持ち込んでください。

Table with 2 columns: 店舗名 (Store Name) and 所在地 (Location). Rows include 高森店, 富沢店, 南小泉店, 高砂駅前店, 榴岡店, 桜ヶ丘店.

(問)ごみ減量推進課 214・8229

地域の皆さんへの環境学習にご活用ください

講師への謝礼金・旅費は不要です (会場費・材料費は実費負担)

市民向けの環境出前講座の情報を提供します～環境出前講座ネットワーク

大学等が実施する、環境に関する講座の内容・対象・お問い合わせ窓口などを集約し、まとめています。

市ホームページでご覧いただけるほか、環境交流サロン(市役所一番町仮庁舎〔小田急仙台ビル〕9階)、区役所総合案内、総合支所などでパンフレットを配布しています。

(問)環境交流サロン 214-1233

ごみの減量やリサイクルに関する研修に講師を派遣します～3R講師派遣事業

古布や牛乳パックを利用した手工芸品作りや風呂敷の活用方法、ごみを出さない料理体験など、さまざまな講座を用意しています。講座内容など詳しくは、同封のチラシ「3R講師派遣事業」をご覧ください。

(問)ごみ減量推進課 214-8230

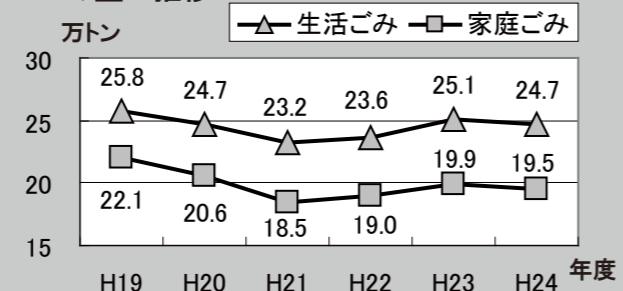
※上記以外にも利用可能なものがあります。詳しくは、同封のチラシ「エコイベント・3R学習を支援します!」をご覧ください。

ごみの減量にご協力ください

昨年度の家ごみ量は、震災の影響等で大幅に増加した平成23年度に比べて、約4,000トンの減量となりましたが、震災前の平成21・22年度と比べると、依然として多い状況が続いています。

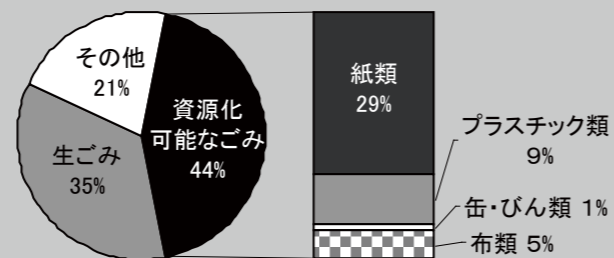
ごみの減量には、市民の皆さん一人一人の日頃の行動の積み重ねが大切です。家庭ごみのうち約4割が、分別すればリサイクルできる資源です。引き続き、ごみの適正な排出や減量・リサイクルに向けた地域の皆さんへの啓発に、ご協力をお願いします。

ごみ量の推移



※生活ごみ=家庭ごみや資源ごみ(紙類、プラスチック類、缶・びん類等)、粗大ごみの合計

家庭ごみの内訳(平成24年度) ※速報



(問)ごみ減量推進課 214-8230